



高橋正光・事務局長
2020-2021年度R.I.会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 7

会長/President 高橋 正 光
幹事/Secretary 齋 藤 達 雄
クラブ会報委員長/Committee Man of Weekly Report 大久保 伊津美
第 1 週 2020年9月4日(金)
例 会 毎週金曜日
点 鐘 12時30分
例 会 場 ホワイトイン高崎

事務所/Office
高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室
T E L 027-328-3371
F A X 027-328-3372
<http://www.takasakisympphony-rc.org>
E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員/Office worker 浅見 洋子
本日のプログラム 会長の日 高橋正光会長
ロータリーソング 君が代、奉仕の理想
第1093回例会報告

第4週 8月28日(金) 会場：ホワイトイン高崎
会員卓話 横山正男パスト会長
「IMについて中間報告・ZoomによるWeb会議について」



御来訪者/Visitor 0名

出席報告

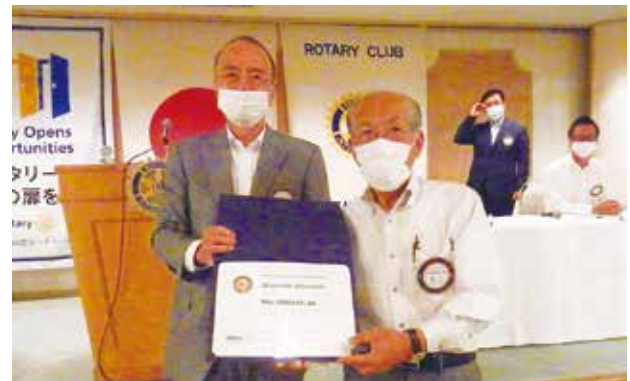
| | |
|--------|--------|
| 会 員 数 | 49名 |
| 出席計算人数 | 45名 |
| 本日出席者 | 35名 |
| 本日出席率 | 80.00% |
| 先々週出席率 | 86.36% |

幹事報告/Secretary Report

- ・記念切手「ロータリー100周年」発行のお知らせ
- ・神戸東灘RC週報
- ・例会変更
- ・群馬ダイヤモンドペガサス「NET広告のご案内・YouTubeチャンネル登録チラシ」
- ・神戸東灘RC 市居恒雄様より週報へのお葉書紹介

ロータリー財団寄付表彰

- ・ポール・ハリス・フェロー 宮口 昌利君



委員会報告/Committee Report

ニコニコBOX/Donator Niconico Box

- 宮口 昌利君 (これから頑張ります)
- 横山 正男君 (例会でお時間を頂きます)
- 小林 馨君 (元気にいきましょう)
- 三村 浩司君 (")
- 白石 隆夫君 (")
- 船渡川信幸君 (おかげさまで開業23年目に今日なりました)
- 宮田 正枝君 (お弁当のご注文いつもありがとうございます)



ロータリー財団BOX / Donator Rotary Foundation

宮口 昌利君 高橋 正光君 三浦 敦朗君
折田 慶太君 浦野 幸男君

米山奨学会BOX / Donator Yoneyama Scholarship

宮口 昌利君 小林 馨君 白石 隆夫君

次回例会予定

9月11日(金)

防犯パトロール 於高崎駅東口

集合 12:30

集合場所 高崎駅東口交番前

※終了後お弁当をお持ち帰りいただきます。

ポリオ・プラスについて



1978年、ロータリー創立75周年を2年後に控え、個々のクラブでなくR Iが主導する奉仕活動を発表しました。これは「保険、飢餓追放および人間性尊重のプログラム」と呼ばれるもので、3Hプログラムと略称されました。

ポリオ・プラスは、ロータリーの3Hプログラムより派生した、ポリオ(急性灰白髄炎)の撲滅を目的としたプログラムです。一般的には小児麻痺と呼ばれるが大人でも罹患する為、最近はこの呼称は使われません。

ポリオは、ウイルスによって経口感染し、1~2週間後に発症し、発熱・頭や背中の痛み・発汗・倦怠感・嘔吐・下痢等が起こります。その後麻痺症状がでて、重症の場合呼吸不全となります。現在でもポリオ・ウイルスに効く薬はなく、ワクチンによる予防のみが有効です。

1953年、ジョナス・ソーグ博士によってポリオ・ワクチンが開発されました。1954年にアルバート・セービン博士が経口生ワクチンを開発し、1961年にはその使用が認可されました。この間の1960年には、北海道で流行し6000人の患者を出しました。

その結果、1950年代後半から60年代前半にかけて、先進国では数百万人の学齢前の児童に対し予防接種が行われました。1980年当時、世界の児童では20%にすぎないと推定されました。開発途上国では、ワクチンの費用と輸送の確立が見込めませんでした。

1978年、R Iとフィリピン政府が国内児童にポ

リオ予防接種を実施したプロジェクトが始まります。これが予想外の成果を上げ、プロジェクトの有効性が示されました。

1985年、「ポリオ・プラス計画」が発表され、ポリオの他、ワクチンで予防可能なハシカ・ジフテリア・結核・破傷風・百日咳もプラスした、ポリオ・プラスが誕生したのです。

ポリオ・プラスは、全ロータリアンを奮い立たせました。ロータリー財団は、当初目標の倍以上の2億4700万ドルを集めました。R Iは、1991年末までに、ポリオ・ワクチンを希望する全開発途上国に5年間提供するという当初目標を達成しました。

1994年9月、西半球がポリオ・ウイルス無発生地域と宣言され、その後、西太平洋地域、ヨーロッパ地域等々その地域を広げて行きました。WHO、米国疾病予防センター、ユニセフ、ビルゲイツ財団等も巻き込みポリオ根絶の輪は広がり続けています。そして、2840地区は、ポリオ・プラスに対して、一人年30ドルの寄付を地区目標としています。

「週報へのお葉書」

神戸東灘RC 市居 恒雄様

拝啓 いつも御厚情を頂きありがとうございます。

週報の記事について。

突然で申し訳ありませんが、8月7日付週報にて、清水善造氏の記事と拝見し、とても懐しく思いました。と言いますのは小生の小学生時代(8.14~20年)に、清水家は小生の生家から200m余りの近く(現在の神戸市東灘区住吉東町)に居住しておられ、その末娘さんと小学校が同級で6年間一緒に通学していました。母上(善造氏夫人)にも可愛がって頂いたことを覚えています。

大した事ではございませんが、一言御礼申し上げます。次男です。 敬具